

## 事前キャンプ地誘致の取り組み

### 【経緯】

本市は、盲目の国学者、塙保己一誕生の地であり、障害者と健常者の「共生社会づくり」を目指しています。また、合併前の旧児玉町では古くからサッカーが盛んであり、現在でも多くの市民が親しんでいます。さらに、平成29年1月には、市民主導の「ロービジョンフットサル日本代表を応援する会本庄支部」が発足し、日本代表の合宿支援を行っています。

以上のことから、本市では、視覚障害者スポーツ、ブラインドサッカー（ロービジョンフットサル）競技への支援を行っています。

### 【目的】

共生社会づくりの推進及びオリンピック・パラリンピックというビッグイベントを契機として本市をPR、魅力を発信するため視覚障害者5人制サッカー（ブラインドサッカー）競技の事前キャンプ地の誘致を目指しています。

なお、相手国とは事前キャンプ期間中のみの一過性の取組（交流）でなく、ホストタウンとして広く市民との交流を目指します。

### 【主な取組】

平成28年度以降、県主催の外国大使等歓迎レセプションにて、市のPRを行いました。

平成29年度には日本ブラインドサッカー協会と良好な関係を構築。平成30年3月24日に協会主催の事前キャンプ マッチミーティングに参加し、市をPR及び面談を行いました。

### 【経過・今後の予定】

H30年4月上旬	3月24日の面談後、トルコ共和国関係者からメールがあり、以降メールのやりとりを実施。
4月29日	日本滞在中のトルコ共和国関係者と再度面談し、本市の施設等をPR。トルコ共和国側から「キャンプ地決定には現地確認が必要」との回答。
H30年7月8～9日	トルコ共和国関係者2名による本市内施設（練習会場、宿泊施設等）の現地確認。関係者より「本庄市を選ばない理由はない。本庄市長とアンカラでMOU（覚書）の締結ができるよう進めていきたい」との発言を頂く。
H30年7月10日以降	メールにてMOU締結に向けて調整（市・大学・トルコ）
H30年9月20日	メールにてトルコ側より、MOU締結に向けて合意し、訪問日程が示され、訪問受入が正式決定。
H30年10月4日	<u>トルコ共和国視覚障害者スポーツ協会、本庄市（練習環境の提供等）、早稲田大学（宿泊施設の提供）の3者でトルコ共和国アンカラにてパラリンピック事前キャンプ開催に係るMOUの締結を行う。</u>
H30年度中	市民の機運醸成及び共生ホストタウン登録を目指します。 協定書（契約）の調整。
H31年度以降	市民の機運醸成。 交流の実施。